

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	008-014	事務事業名	スポーツ施設等整備事業	所管局	文化観光局	所管課	スポーツ施設課	分類	D 建設・整備事業
1	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～				SDG s	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	
		施策	(7) 生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現				未来都市 計画の	ターゲット	3.4	
		取組の方向性	②気軽にできるスポーツの機会創出				施策との関連	主な取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進	
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
	○体育館をはじめとしたスポーツ施設について、改修や設備更新など必要な修繕を行い、安全で快適なスポーツ環境を提供する。				事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	○改修や設備更新など優先度の高いものから必要な修繕を行い、安全で快適なスポーツ環境を提供した。 ・初芝体育館昇降機設備取替工事 ・初芝体育館敷地内通路整備工事 ・美原総合スポーツセンターろ過設備改修工事
					うち一般財源		271,463	333,102	831,946	
					主 な 内 訳	委託料	28,355	38,305	10,702	
						工事請負費	10,056	25,827	58,869	
						負担金補助及び交付金	253,106	240,305	762,013	
						その他	44	61,015	0	
							8,257	5,955	11,064	
					人件費(b)		32,800	26,900	27,900	
	年間経費(c)=(a)+(b)		304,263	360,002	859,846					
	No.	事業番号	008-056	事務事業名	文化財課施設・史跡等管理	所管局	文化観光局	所管課	文化財課	分類
2	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	—				SDG s	ゴール	—	
		施策	—				未来都市 計画の	ターゲット	—	
		取組の方向性	—				施策との関連	主な取組	—	
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
	文化財課分室及び第二収蔵庫、美原収蔵庫各施設の適切な維持管理を行うとともに、老朽化した設備等の改修工事を実施した。 また、文化財課が管理する史跡・旧跡等を適正に維持・管理するため、除草、樹木剪定、薬剤散布、環境整備等の業務と経年劣化等により破損した施設の修繕等を行った。				事業費(a)		16,643	19,645	19,391	各施設の適切な維持管理、整備を行うことで、施設の延命化及び発掘調査・遺物整理作業等のための基盤環境の整備ができています。令和5年度には、収蔵資料の再整理を行い、収蔵庫での収蔵量の最適化を図った。 また、史跡・旧跡についても適正な管理及び保護・保全を図ることができた。
					うち一般財源		16,557	19,609	17,191	
					主 な 内 訳	電気使用料	2,038	1,853	2,108	
						文化財分室清掃業務	2,939	2,001	2,500	
						史跡除草業務・ 薬剤散布業務	3,358	2,882	6,391	
						文化財課分室改修工事	0	0	2,500	
						その他	8,308	12,909	5,892	
					人件費(b)		11,070	11,070	14,610	
	年間経費(c)=(a)+(b)		27,713	30,715	34,001					

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	008-057	事務事業名	文化財課分室受託発掘調査	所管局	文化観光局	所管課	文化財課	分類	C 内部管理事業	
3	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	—			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も			
		施策	—				ターゲット	8.9			
		取組の方向性	—				主な取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
				R4決算	R5決算	R6予算					
	市内に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地において、開発行為等により破壊される埋蔵文化財（地中に埋もれている遺跡）の記録保存を行うために、事業者からの委託を受けて、発掘調査及び出土遺物の整理作業、報告書作成を行った。			事業費(a)	5,720	10,110	40,000	事業者からの遺跡調査原因者負担金を受けて実施する発掘調査及び調査報告書の作成により、開発行為等の工事に伴い失われる埋蔵文化財・遺跡の情報（記録）を保存することができた。			
				うち一般財源	0	0	0				
				主な内訳	会計年度任用職員報酬	4,246	8,208				14,554
					費用弁償（通勤費）	499	992				1,624
					印刷製本費	636	506				8,380
消耗品費					237	389	3,516				
その他					102	15	11,926				
人件費(b)				20,090	20,090	17,820					
年間経費(c)=(a)+(b)		25,810	30,200	57,820							

No.	事業番号	008-060	事務事業名	資料収集保存事業	所管局	文化観光局	所管課	学芸課	分類	C 内部管理事業	
4	基本計画 2025 の施策 との関連	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～			SDGs 未来都市 計画の 施策との関連	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も			
		施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進				ターゲット	8.9			
		取組の方向性	①堺の歴史文化資源を活用した滞在、消費拡大促進				主な取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
				R4決算	R5決算	R6予算					
	○堺市に関する資料の調査を行い、所蔵者からの寄贈・寄託を受け入れ新たな資料を収蔵した。 ○収蔵資料を適切な文化財空調のもとで保存できるようにし、必要に応じて修理した。また、修理した資料を研究したうえで、展示等で公開し活用した。 ・堺市博物館 館蔵資料修理業務 ・大塚山古墳基礎整理等業務 等			事業費(a)	14,955	15,479	26,430	○堺市の歴史・文化に関連する積極的な資料の調査を通じて、資料所蔵者と良好な関係を築くことで資料の無償の寄贈・寄託をいただくことができ、収蔵品のうち手薄な時代や種類の資料の充実が図れた。 ○博物館の館蔵資料修理業務や大塚山古墳基礎整理等業務を行うことで、行基菩薩画像や大塚山古墳出土鉄製品等の保存状況を改善した。 ○それらの業務の実施にあたっては、令和4年度に対する令和5年度の年間経費を1%の微増に抑え、また事業費を令和5年度予算に対して約93%にとどめたうえで、必要な修理業務等を予定どおりに行うことができた。			
				うち一般財源	5,160	3,691	4,839				
				主な内訳	物品等修繕料	1,374	4,082				5,024
					委託料	11,498	10,654				11,670
					備品購入費	1,515	220				700
工事請負費					0	0	7,500				
その他					568	523	1,536				
人件費(b)				14,760	14,580	14,580					
年間経費(c)=(a)+(b)		29,715	30,059	41,010							

令和6年度事業概要一覧表

No.	事業番号	008-062	事務事業名	博物館管理事業	所管局	文化観光局	所管課	学芸課	分類	C 内部管理事業
5	基本計画	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～			SDG s	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も		
	2025の施策との関連	施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進			未来都市計画の施策との関連	ターゲット	8.9		
		取組の方向性	①堺の歴史文化資源を活用した滞在、消費拡大促進				主な取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信		
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
	○受付、警備、清掃、設備運転監視など各種委託業務の履行を監督し、適切な館の維持、管理、運営を行った。 ○博物館の施設・設備の不具合を解消するため、必要な修繕工事を行い、安全・安心な環境を整えた。 ・博物館中庭側展示室平屋根改修工事 堺市博物館の中庭側展示室屋根が、老朽化により損傷がひどく、雨漏りが頻繁に発生している状況であったため、改修工事を行った。 ・博物館空気調和設備改修工事設計業務 空調設備は設置から20年以上が経過し、老朽化が進み不具合が生じたため、改修工事に向けた設計業務を行った。				事業費(a)		R4決算	R5決算	R6予算	○博物館が管理する施設等について、必要な委託業務や修繕工事を行い、入館者が安全・安心に施設を利用できる環境を整備した。 ○展示室内に雨漏りの影響が出ていた屋根の改修工事により、観覧環境を整備した。また、博物館を突発的に休館せざるを得ない状況を未然に防ぐため、計画的に、令和5年度に設計業務、令和6年度及び令和7年度の2か年で改修工事を行う。 ○博物館の適切な維持管理、運営を行うことで、展示やイベントが実施でき、入館者数の増加に寄与することができた。
					うち一般財源		244,320	225,427	316,617	
					主 な 内 訳	報酬	22,741	18,624	24,343	
						光熱水費	27,202	24,187	38,596	
						委託料	107,411	107,539	102,586	
						工事請負費・修繕料	38,758	41,631	136,246	
						その他	48,208	33,446	14,846	
						人件費(b)	39,400	39,050	38,950	
						年間経費(c)=(a)+(b)	283,720	264,477	355,567	
No.	事業番号	008-098	事務事業名	旧大阪女子大学跡地管理事業	所管局	文化観光局	所管課	世界遺産課	分類	C 内部管理事業
6	基本計画	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～			SDG s	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを		
	2025の施策との関連	施策	(1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出			未来都市計画の施策との関連	ターゲット	11.4		
		取組の方向性	①百舌鳥古墳群の保全・継承とゲートウェイ機能の強化				主な取組	百舌鳥古墳群の保全		
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
	・旧大阪女子大学跡地内の維持管理を実施。				事業費(a)		5,416	2,518	3,100	敷地の維持管理経費については、令和4年度は西門の改修工事を実施したため事業費が増加していたが、令和5年度は工事完了に伴い減少した。 西門の改修によって、公道に接する入口が確保でき、業務時間の短縮等、業務の効率化につながり、「敷地を適切に管理する」という目標達成に寄与したと考えている。 今後も跡地の将来的な活用に向け、適切な維持管理等を行う。
					うち一般財源		5,416	2,518	3,100	
					主 な 内 訳	消耗品費	45	50	50	
						除草業務委託料	1,782	2,006	1,550	
						樹木剪定業務委託料	1,182	462	1,500	
						西門改修工事	2,407	0	0	
						人件費(b)	2,980	3,240	3,240	
						年間経費(c)=(a)+(b)	8,396	5,758	6,340	